NEWSLETTER

2018.1.31

THE ACADEMY OF CLINICAL DENTISTRY

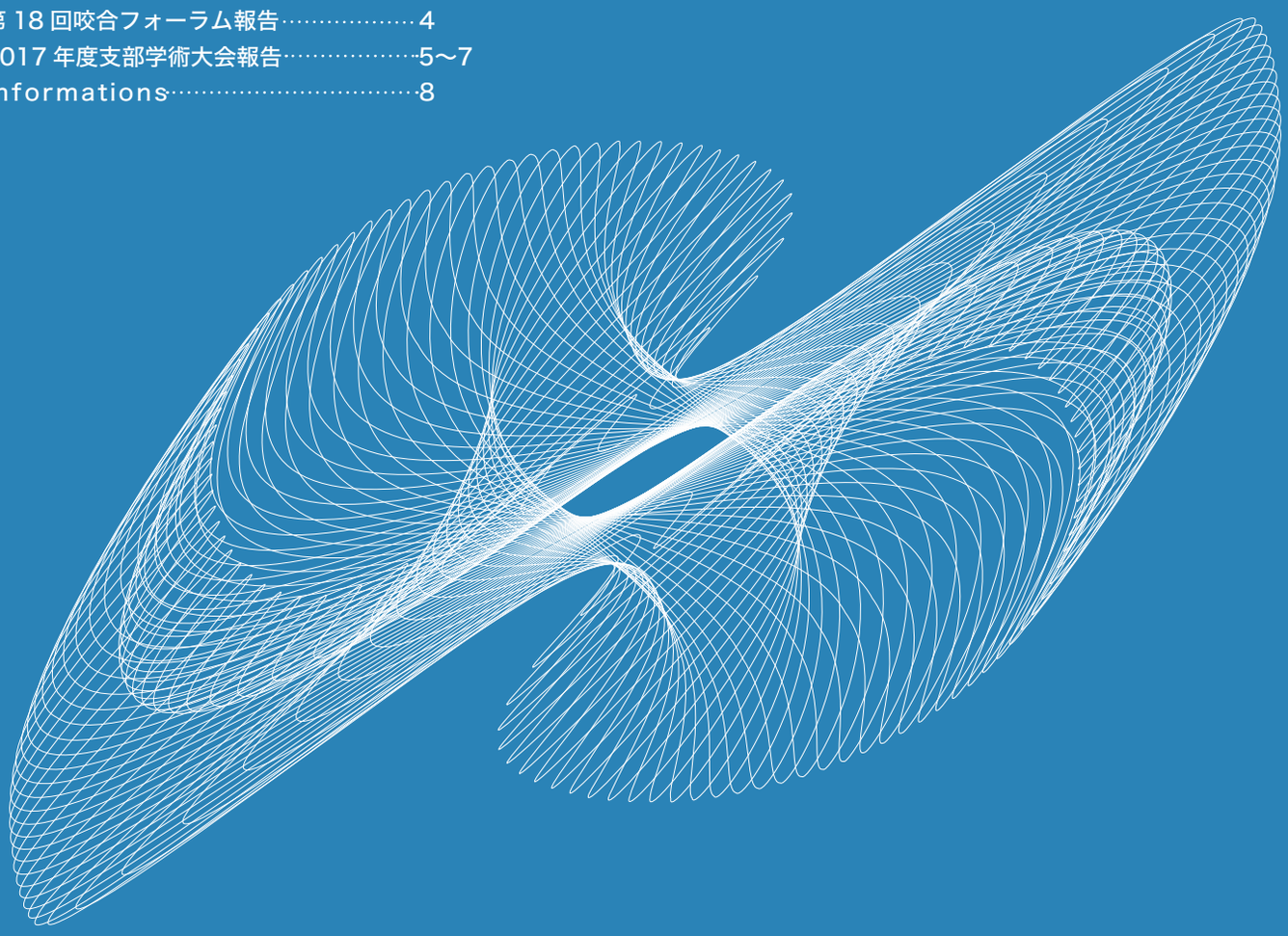
79

第36回 日本顎咬合学会 学術大会・総会

真・顎咬合学 輝け日本の歯科臨床!! ～臨床力の向上による歯科界の活性化～

海外演者紹介 / 事前参加登録のご案内 2, 3

- 第 18 回咬合フォーラム報告……4
- 2017 年度支部学術大会報告……5～7
- Informations……8



特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 ニュースレター No.79

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-8-2 山京半蔵門パレス 201 TEL：03-6683-2069 FAX：03-6691-0261

ホームページ URL：http://www.ago.ac/

第36回 **日本顎咬合学会 学術大会・総会**
真・顎咬合学　輝け日本の歯科臨床 !!　～臨床力の向上による歯科界の活性化～

2018 年 6 月 9 日（土）・10 日（日）
東京国際フォーラム

特別講演（ホール C　6/9　9：30 ～ 12：00）

Practical Solutions for Complex Rehabilitations Using Adhesive Dentistry
接着を用いた複合的な修復治療の実際

Avishai Sadan DMD, MBA

略歴：南カリフォルニア大学（USC）歯学部学部長，教授．学部長として，最新の技術や治療法を経験させることを重視する教育方針で，多くの教育・カリキュラムの改革を先導した．また，USC の伝統ともいえる強力な教授陣を維持するために，若手教員の採用や指導にも尽力している．Quintessence International や Quintessence of Dental Technology の編集長も歴任．インプラント歯科に関する材料や審美について，国内外で講演や論文発表を行っている．研修期間およびフェローシップはルイジアナ州立大学歯学部補綴科にて修了，ヘブライ大学にて歯学博士号取得．

講演抄録

臨床医は保存的な治療方法に留意しながら，低侵襲で機能的，審美的であり長期的に予知性が高い治療を患者に提供するべきである．そのような治療法の決定には，患者の要求や希望，抱えている機能的な問題，利用できる材料，様々な臨床方法などを考慮するべきである．新しい保存修復の手法は，最近まで対応できるとは考えられていなかったような症例を含む幅広い状況に対して，多様な治療法を組み合わせて応用することができるようになった．本講演では，テクニックや新しい材料の設計や選択に重点を置いて，自身のデータに基づいて，審美的な治療法を選択するための系統的かつ科学的な手法を紹介する．

講演のねらい

参加者は，この講演により以下のことが期待できる

1）セラミックやコンポジットベースの材料に対して，安定した接着界面を確立することの理解
2）患者の年齢に応じた修復治療の選択
3）セラミックや最新のコンポジットレジン，CAD/CAM を用いた治療法の優位性と限界の理解

咬合器特別展示（ホール E）

ナソロジカル・インスツルメントと全調節性咬合器

歯科界の遺産である、近代咬合学の創始者「McCollum の Gnathoscope 咬合器」と「Granger の Gnatholator 咬合器」「Stuart の Gnatholgical Computer」を展示します．
「Denar Pantronic」，そして Dr Lee の開発したタービンシステムの顆頭運動描刻装置とモーションアナログを展示する計画です．ご期待ください．

公開フォーラム（ホールC　6/9　13：30～16：30）

歯周病と全身疾患

現在，国民の約8割が歯周病に罹患していると言われています．歯周病は，歯ぐきからの出血や口臭の原因となり，歯を支えている骨が溶けて，最後は歯がグラグラして抜けてしまう恐ろしい病気です．しかし，この20年ほどの研究で，歯周病はそれだけでなく，糖尿病や脳梗塞，心筋梗塞，早産など全身に深く関わっていることが分かってきました．皆さん，歯周病と全身との関係を学んでみませんか．

Program

歯科衛生士が取り組む全身管理 ～糖尿病患者への対応～	中澤 正絵	（45分）
糖尿病予防と長生きの秘訣は歯周病治療にあり！	西田 亙	（45分）
歯周病と全身疾患との関係 ―エビデンスと論争	関野 愉	（45分）
歯周病と糖尿病との関連性	伊藤 公一	（45分）

事前参加登録のご案内

事前参加登録期間

2017年12月1日（金）～2018年5月16日（水）まで

※参加費払込期日：5月25日（金）

※締切後のお申込みはお受けできません．締切後は，会場の当日参加登録受付にお越しください．当日参加登録は，かなりの混雑が予測されますので事前参加登録をお勧めします．

※事前参加登録のキャンセルはお受けできません．またご入金いただきました参加登録費のご返金もできませんので予め，ご了承ください．

事前参加登録方法

学術大会ホームページ　http://www.ago.ac/36th/

ホームページまたはFAXでのお申込みとなります．メール，電話でのお申込みはお受けしておりません．

お支払い方法

○**事前参加登録** →【HPの場合】クレジットカードまたはコンビニ決済
【FAXの場合】コンビニ決済のみ

※コンビニ決済をご選択された場合は，代行業者「**SMBCファイナンスサービス**」より払込用紙をお送りさせていただきます．

○ご登録は，ご入金をもって完了となります．払込期日までにご入金がない場合は，当日参加登録受付にて再度お手続きください．

○**当日参加登録** → 現金払いのみ（クレジットカードはご利用いただけません）

学術大会参加費

会員歯科医師	27,000円
会員歯科技工士	12,000円
会員歯科衛生士	12,000円
準会員	無料
非会員歯科技工士	15,000円
非会員歯科衛生士	15,000円
歯科助手	12,000円
非会員臨床研修医・非会員学生※	無料

※非会員臨床研修医・非会員学生への抄録集配布はございません．必要な場合は，当日1部1,000円でご購入ください．

※非会員臨床研修医・非会員学生は，証明書提示必須

※参加カテゴリーに該当しない方（子供含む）は，ご参加いただけません．

≪ご入会について≫

学会ホームページよりお手続きください．

URL：http://www.ago.ac/

入会金，年会費は正会員・準会員では異なります．詳しくはホームページをご覧ください。

■ 準会員入会資格者 → 臨床研修医，学生（社会人学生を除く）

会場へのアクセス

東京国際フォーラム

〒100-0005
東京都千代田区丸の内3-5-1
TEL.03-5221-9000

交通のご案内

■ JR有楽町駅より徒歩1分

■ JR東京駅より徒歩5分（京葉線東京駅と地下1階コンコースにて連絡）

● 有楽町線有楽町駅より徒歩1分（出口D5と地下1階コンコースにて連絡）

お問い合わせ

日本顎咬合学会

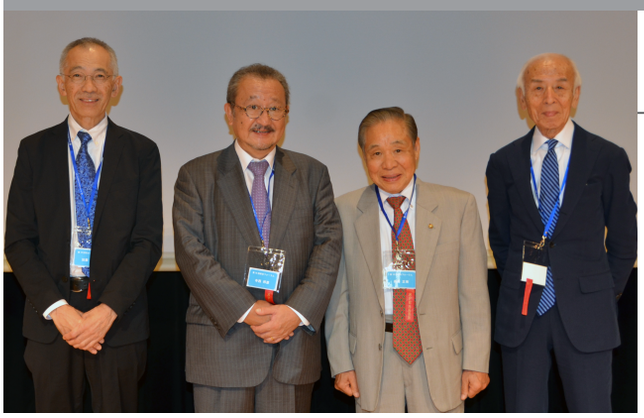
平日10:00～17:30

学術大会に関するお問い合わせ

TEL：**03-3261-0474**
FAX：**03-6675-9539**
E-mail：**gakujutsu@ago.ac**

THE ACADEMY OF CLINICAL DENTISTRY

第 18 回 咬合フォーラム 報告



加藤 均先生，寺西邦彦先生，桑田正博先生，細山 愃先生

支部委員会副委員長　山崎 一人

去る 10 月 1 日，第 18 回咬合フォーラムが，石川県金沢市の石川県立音楽堂邦楽ホールにて開催されました．上田秀朗理事長，中島稔博学術委員長の挨拶の後，「真・顎咬合学 咬合の潮流を再考する ～一歯から全身まで～」というテーマのもと 3 人の咬合に精通された先生方，加藤 均先生，桑田正博先生，寺西邦彦先生を講師としてお招きし，細山 愃先生に座長の労をいただき講演が行われました．

Program

主機能部位に基づく実践咬合論　–咬合面形態のあり方を求めて–
加藤 均先生（東京証券業健康保険組合診療所）

集約されてきた " 臨床咬合論 "
ナソロジー，P.M.S.，そして Functionally Discluded Occlusion
桑田正博先生（クワタカレッジ）

日常歯科臨床における咬合の捉え方と与え方
寺西邦彦先生（寺西歯科医院）

加藤先生は，第一大臼歯に着目され，主機能部位としての重要性をデータに基づいて解説いただき，臨床例も交えてお話しいただきました．

桑田先生には，種々の咬合論の歴史からその時点での評価，さらに最新の材料までと多岐にわたり永年のご経験を元にお話しいただき，さらに数々の貴重なスライドをご提示いただきました．

寺西先生は，臨床家として最低限必要なチェアサイドと，咬合器上で行うべき咬合診査，そしてそれを臨床でどう活用するかに関して臨床例，長期経過症例を通してお話いただきました．

ご講演の後，座長および 3 人の講師の先生を交えてディスカッションが行われ，会場から活発な質疑があり，これに対して講師からも熱のこもった応答があり，盛会裡に終演となりました．

第 19 回咬合フォーラムは，2018 年 9 月 30 日北海道札幌市にて開催されます．是非ご参加ください．

寺西邦彦先生

桑田正博先生

加藤 均先生

2017 年度 支部学術大会 報告

北海道支部

2017 年 10 月 28・29 日に開催された北海道支部認定医教育研修および学術大会は，共に多数のご出席をいただき盛会のうちに終了しました．

今年の認定医教育研修は古谷野潔先生と貞光謙一郎先生にお越しいただき，お二人のお話は北海道ではなかなかお聴きできないこともあり，聴講いただいた会員の方たちは，皆熱心に耳を傾けており，会員にとって非常に有意義な研修となりました．

また，翌日開催の学術大会も例年にはない賑わいとなり，活気あふれる学術大会となりました．今年は一般口演，特別講演（南清和先生）に加え，歯科衛生士部門の特別講演に加々美恵一先生と俵木 勉先生にご登壇いただき，皆熱心に聴き入っておりました．また北海道支部では初めての試みとなった野谷健一先生，野谷健治先生，門 貴司先生，佐々木ミッシェル先生の 4 名の先生のハンズオンも，聴講者からは来年もまた開催して欲しいとのご意見をいただきました．

これもひとえに，ご参加いただいた皆様，ご協賛いただいた業者の方たちのお蔭であり，ここに厚くお礼申し上げます．来年もまた皆様に興味を持っていただけるような企画を練り上げてまいりますので，今年以上のご参加をいただけますと幸甚に存じます．

東北支部

遠くの山々も澄みきった青空に映える 2017 年 11 月 5 日（日），宮城県歯科医師会館において第 23 回東北支部学術大会が，“ 東北から発信する「カリエス & フルデンチャー」— 東北支部新刊書籍の著者講演を聞こう！" と題して開催されました．

東北支部会員である杉山豊先生と佐藤勝史先生が新刊書籍を発刊したことを受け，これに続く会員を促すべく企画されました．杉山豊先生に「むし歯ゼロへの挑戦」と題して，佐藤勝史先生に「This is Suction Denture!」と題して，井上和先生に「セルフコーチング—毎日をごきげんにすごす方法—」と題して，各々ご講演いただきました．

会員発表においては，歯科医師 4 題，歯科技工士 3 題，歯科衛生士 2 題の計 9 人が発表いたしました．昨年と同数の充実した布陣となりました．

菅野博康初代支部長，菅崎直身二代目支部長，佐藤善徳三代目支部長，木村純子前支部長と歴代支部長に脈々と伝承されている，「歯科医師」「歯科衛生士」「歯科技工士」との “ 三位一体 ” が掲げられた支部学術大会となったと思います．

172 名の参加者を集め会場は溢れんばかりの満員となり盛況のうちに幕を閉じました．関係者各位のご尽力，ご協力に深くお礼申し上げます．

関東支部

本年度の学術大会は，大会長に前支部長の石上和紀先生，実行委員長に吉田拓志先生を中心に準備を行ってきました．メインテーマは『日顎だから出来る臨床のテーマパーク』とし，副題として～今必要な知識・技術がここにある～を掲げました．

日本顎咬合学会は，臨床に携わる開業医の先生が会員の大多数を占めます．そのためプログラムは開業医の先生方に満足していただける内容とし，テーブルクリニック，ハンズオンなども例年同様に併設しました．また，歯科技工士も多数参加していただきたいという思いから，歯科医師と歯科技工士のセッションも新設しました．これにより文字通りの三位一体の支部大会になったのではないかと自負しております．次回の支部大会も実りある会にしすべく努力する所存でございます．どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます．

今回で 6 回目を迎えた支部学術大会ですが，お陰様で参加人数は昨年を約 100 名上回る 584 人の大盛況で，どの部屋も満席でした．ご講演を快く引き受けてくださった講師の先生方のお陰だと思っています．この場を借りて感謝申し上げます．また，大会の運営に陰ながらご尽力をいただきました理事，役員の先生方，そして協賛展示をいただきました賛助会員の皆様に心よりお礼を申し上げます．

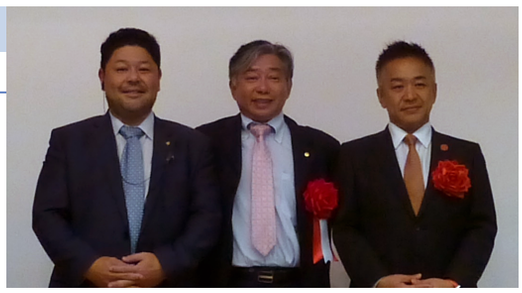
中部支部

11 月 12 日（日）にウインクあいちにて支部学術大会を開催いたしました．今回は谷口威夫先生と山岸貴美恵先生に長野からお越しいただきペリオの治療における基本的な手技と SRP の重要性について 5 時間のご講演をいただきました．谷口先生の熱のこもったお話に終始会場は熱気に包まれていました．歯科衛生士さんの参加もあり，会場は当初予定していた人数を上回り立ち見の方も出るぐらいでした．さすがに谷口先生の知名度の高さと参加された会員の先生方の関心度が見事に調和した結果で，過去最高の参加者数となりました．包括歯科医療において炎症のコントロールは最初にクリアしておかなければならない重要な課題であり，かつ歯科衛生士さんの活かし方や，立場の確立のためのシステム作りにおいてもお話いただき，明日からの臨床を見直すために大きな意識づけをいただきました．

終了後すぐに会員発表に移り 5 名の先生方に日頃の成果を発表していただきました．レベルアップした内容ばかりでハードなタイムスケジュールでしたが，最後までご聴講いただきました．

参加した先生方の皆さん，運営に当たった理事の先生方，本当にお疲れ様でした．

近畿・四国・中国支部



近畿・中国・四国支部（以下，近畿支部）学術大会を 2017 年 10 月 22 日（日）に開催いたしました．支部の学術大会としては今回で 23 回を数えます．

近畿支部では支部会員の日常臨床に即し明日から役立つ実践的なテーマを設定しており，今回は「長期安定する歯科治療」として，歯科医師，歯科技工士，歯科衛生士対象の依頼講演と会員発表にてプログラムを構成しました．

歯科医師，歯科技工士対象講演では，歯内療法のスペシャリストである小林実先生に登壇いただき，組織を除去せず，最小限の治療で最大限の効果を得るためには何を重要視すべきかという診査・診断の重要性について解説されました．その後，元理事長の南清和先生には，一口腔一単位での治療のための咬合付与について症例・動画を交え，咬合のどの部分を診ることが必要なのか，どのようにすれば咬合再構成した症例が長期的に安定するかについて講演されました．

歯科衛生士対象講演では，認定歯科衛生士の原野晶代先生と前副支部長の中山隆司先生に登壇いただき，当学会が推奨する健口長寿への導きについて個々の患者のライフステージに応じたトータルケアの症例を提示されました．

当日は台風接近による参加者減少が危ぶまれましたが 264 名が集い，発表会場は満席となり成功裡に閉会することができました．最後になりましたが，会務運営・プログラム立案にご尽力をいただきました支部理事，役員の先生方，協賛展示をいただきました賛助会員 12 社の皆様に心よりお礼を申し上げます．

九州・沖縄支部

11 月 26 日（日），天神ビル 10 号会議室にて，九州沖縄支部学術講演会を開催し，174 名の方々にご参加いただきました．今回は 8 名の歯科医師の会員発表があり，8 名中 4 名が若手支部選抜の選考対象となりました．全ての演者が，患者さんの口腔内だけではなく，全身状態，バックグラウンドまで考慮し，患者さんのことを第一に考えた心が温まる発表でした．動画を使用する演者も多く非常にわかりやすいプレゼンテーションがいくつもありました．また，特別講演においては，講師の奥野幾久先生に，エビデンスに基づいた咬合論，義歯の作製法について，若手歯科医師にもわかりやすいようにご講演していただきました．質疑応答ではベテラン，若手を問わず，活発な意見交換が交わされ，盛会のうちに終了となりました．次年度は，歯科技工士や歯科衛生士の方々も広く参加していただけるような企画を考案中です．

当日においては，参加いただいた会員の皆様，運営協力していただいた関係者の方々には大変感謝しております．この場を借りて厚くお礼申し上げます．

特定非営利活動法人　日本顎咬合学会　News Letter 79
発行日：2018 年 1 月 31 日
発行者：上田秀朗
特定非営利活動法人　日本顎咬合学会
〒 102-0093　東京都千代田区平河町 1-8-2　山京半蔵門パレス 201
TEL：03-6683-2069　FAX：03-6691-0261　E-mail：nichigaku@ago.ac

Printed in Japan

◆ 2018 年度　各支部の事業予定（自　2018 年 4 月 1 日～至　2019 年 3 月 31 日）

支部名	区　分	開催日	会　場	内容，講師等
北海道	認定医 教育研修会	2018 年 10 月 20 日（土）	北海道歯科医師会館：予定 （北海道札幌市）	テーマ：「心地よく咬むために土台を作る―エンドを極める―」 高橋 慶壮 先生　（奥羽大学歯学部教授） 倉富　　覚 先生　（福岡県開業）
	支部学術大会	2018 年 10 月 21 日（日）	北海道歯科医師会館：予定 （北海道札幌市）	未定
東北	認定医 教育研修会	2018 年 11 月 24 日（土）	宮城県歯科医師会館 （宮城県仙台市）	テーマ：「心地よく咬むために土台を作る―エンドを極める―」 前田 英史 先生　（九州大学大学院歯学研究院教授） 平井　　順 先生　（神奈川県開業）
	支部学術大会	2018 年 11 月 25 日（日）	宮城県歯科医師会館 （宮城県仙台市）	未定
関東 甲信越	認定医 教育研修会	2018 年 11 月 17 日（土）	ベルサール東京日本橋 （東京都中央区）	テーマ：「心地よく咬むために土台を作る―エンドを極める―」 高橋 慶壮 先生　（奥羽大学歯学部教授） 倉富　　覚 先生　（福岡県開業）
	支部学術大会	2018 年 11 月 18 日（日）	ベルサール東京日本橋 （東京都中央区）	未定
中部	認定医 教育研修会	2018 年 12 月 15 日（土）	ウインクあいち （愛知県名古屋市）	テーマ：「心地よく咬むために土台を作る―エンドを極める―」 高橋 慶壮 先生　（奥羽大学歯学部教授） 倉富　　覚 先生　（福岡県開業）
	支部学術大会	2018 年 12 月 16 日（日）	ウインクあいち （愛知県名古屋市）	未定
近畿 中国 四国	認定医 教育研修会	2018 年 11 月 10 日（土）	中之島センタービル リーガロイヤル NCB （大阪府大阪市）	テーマ：「心地よく咬むために土台を作る―エンドを極める―」 前田 英史 先生　（九州大学大学院歯学研究院教授） 平井　　順 先生　（神奈川県開業）
	支部学術大会	2018 年 11 月 11 日（日）	ブリーゼプラザホール＆ カンファレンス　小ホール （大阪府大阪市）	未定
九州 沖縄	認定医 教育研修会	2018 年 12 月 8 日（土）	福岡県歯科医師会館：予定 （福岡県福岡市）	テーマ：「心地よく咬むために土台を作る―エンドを極める―」 前田 英史 先生　（九州大学大学院歯学研究院教授） 平井　　順 先生　（神奈川県開業）
	沖縄県主催 認定医研修会	2019 年 3 月開催予定	未定 （沖縄県那覇市）	未定
	支部学術大会	2018 年 12 月 9 日（日）	福岡県歯科医師会館：予定 （福岡県福岡市）	未定

◆ 会員カード発行のお知らせ

平成 24 年度より会員カードを発行しております．学術大会・咬合フォーラム・研修会などの受付手続きや単位申請（申請方法は会によって異なります）に必要となりますので開催時には必ずご持参頂きますようお願いいたします．

◆ 学会ホームページの「会員専用ページ」をご利用ください

- 勤務先・自宅・お届け先などご登録内容の確認・変更
- 認定資格・単位取得状況の確認
- 年会費のお支払（カード決済），お支払状況の確認

※コンビニ・郵便振替をご希望の方は事務局までご連絡ください

- 2017 年度の年会費の納入がまだお済みでない方は，至急お振込みをお願いいたします．
- 過去に未納分がございますと，認定試験，認定医の更新，学術大会への参加ができませんのでご注意ください．
- 学会からの発送物は郵便及びメール便を利用しています．メール便の場合は転送されませんのでお届けできない場合がございます．勤務先の変更，転居等登録内容に変更が生じた場合は，至急変更のお手続きをお願いいたします．
- 「会員専用ページ」のご利用には，会員 ID（会員 No）とパスワードが必要です．ご不明な場合は事務局までお問い合わせください．